

令和元年9月定例会議事録

令和元年9月5日

鹿屋市教育委員会

○日 時 令和元年9月5日(木)
15時から17時まで

○場 所 教育長室

○出席者

| | |
|----------|---------|
| 教育長 | 中 野 健 作 |
| 教育長職務代理者 | 風呂井 敬 |
| 教育委員 | 蓑 田 繼 男 |
| 教育委員 | 黒羽子 ひとみ |
| 教育委員 | 早 川 雅 子 |

○関係者

| | |
|-----------|---------|
| 教育次長 | 深 水 俊 彦 |
| 教育総務課長 | 牧 口 充 文 |
| 学校教育課長 | 安 藤 晋 哉 |
| 生涯学習課長 | 穂 園 正 幸 |
| 教育総務課課長補佐 | 柿 内 徹 |
| 教育総務課管理係長 | 中 村 あけみ |

○議事日程

- 1 開会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長及び委員の報告
- 4 議事
 - (1) 議案第22号 高須小学校の学校再編について
 - (2) 議案第23号 鹿屋市文化会館条例施行規則の一部改正について
- 5 報告
 - (1) 令和元年度高校生議会一般質問について
 - (2) 世界とつながるイングリッシュキャンプについて
 - (3) かのや未来創造プログラム－平和の花束2019－について
 - (4) 鹿屋市子どもサミットについて
 - (5) 令和2年3月市内中学校卒業予定者の進路希望状況について
 - (6) 第7回鹿屋女子高キッズチャレンジフェスタについて
 - (7) 鹿屋市市民交流センター条例施行規則の一部改正について
 - (8) ドキドキ・ワクワク保育体験について
- 6 動議の討論等
- 7 その他
- 8 閉会

○議決事項

| 議案番号 | 件名 | 審議の状況 | 採決次第 |
|--------|------------------------|--------|------|
| 議案第22号 | 高須小学校の学校再編について | 特記事項なし | 原案可決 |
| 議案第23号 | 鹿屋市文化会館条例施行規則の一部改正について | 特記事項なし | 原案可決 |

○議事要旨

| | |
|--------|--|
| 1 | 開 会 |
| 教育長 | 8月29日に開催された平和の花束は、450名程の来場があり、3,700点を超える作文の応募や、内容の濃い素晴らしいものであったと報告をうけており、出席できなかったのが残念であった。 |
| 2 | 前回の議事録の承認 |
| 教育長 | 異議なく承認 |
| 3 | 教育長及び委員の報告 |
| 教育長 | 報告なく承認 |
| 4 | 議事 |
| | (1) 議案第22号 高須小学校の学校再編について |
| 教育総務課長 | 資料に基づき説明 |
| 黒羽子委員 | 今後の課題と再編に至らなかった過小規模校4校からの意見は。 |
| 教育総務課長 | 期間的に短いスケジュールが課題。4校については、複式学級編成など課題は感じているが、当分の間は現状のままといった意向であった。 |
| 教育次長 | 具体的には、閉校に係る行事等の中には、3月までに終わらないものもあるが、学校の再編は3月中に終わる。 |
| 蓑田委員 | 1年で学校再編をするということだが、高須小の教職員は何名いるのか。急な異動になることから、配慮してもらいたい。 |
| 教育総務課長 | 全部で7名いる。 |
| 風呂井委員 | 経緯のところで満場一致で議決と記載があるが、今後の統合に影響があるのではないか。 |
| 教育長 | 文書があるのか。 |
| 教育総務課長 | 文書をお配りします。 |

| | |
|--------|--|
| 教育長 | 満場一致というのは今後あまりないと思う。 |
| 教育長 | 原案可決とすることに異議はないか。 (異議なしとの発言) |
| 教育長 | 異議がないので、議案第22号は、原案可決とする。 |
| | (2) 議案第23号 鹿屋市文化会館条例施行規則の一部改正について |
| 生涯学習課長 | 資料に基づき説明 |
| 風呂井委員 | 割り切れないものはどうしているか。 |
| 生涯学習課長 | 10円未満は切上げている。 |
| 黒羽子委員 | 長い間使用していない設備も対象になるのか。 |
| 生涯学習課長 | 全て一律値上げをしている。 |
| 蓑田委員 | ピアノは調律分を含むのか。 |
| 生涯学習課長 | ピアノの調律は年一回市が調律を依頼している。 |
| 蓑田委員 | 利用者の負担が相当増えるのではないか。 |
| 生涯学習課長 | 減免規定があるので、そちらで申請してもらおう。 |
| 教育長 | 原案可決とすることに異議はないか。 (異議なしとの発言) |
| 教育長 | 異議がないので、議案第23号は、原案可決とする。 |
| | 報告 |
| | (1) 令和元年度高校生議会一般質問について |
| 教育次長 | 資料に基づき説明 |

| | |
|--------|---|
| 早川委員 | 「登下校時における安全面について」であるが、鹿屋女子校にカメラの設置は考えていないか。 |
| 教育次長 | 女子校正門にカメラの設置を予定している。 |
| 黒羽子委員 | 地元進学率を高めるための魅力的な学校づくりとして、高校生自らも自分たちの高校の良さを考え、積極的にアピールすることが必要との答弁はそのとおりだと思う。 |
| 学校教育課長 | (2) 世界とつながるイングリッシュキャンプについて 資料に基づき説明 |
| 学校教育課長 | (3) かのや未来創造プログラムー平和の花束2019ーについて 資料に基づき説明 |
| 蓑田委員 | 今年は南日本放送の岩崎さんが司会をされたが、話を引き出すのが上手い。 |
| 黒羽子委員 | 何か学校で共有できるものはないか。 |
| 教育次長 | 映像を保存しているので、各学校へ配付できないか検討している。 |
| 風呂井委員 | 個人情報保護の問題はないか。 |
| 教育次長 | 出演者へ同意をとる等十分配慮したい。 |
| 蓑田委員 | 今年度の肝属地区市町教育委員会連絡協議会の管外研修は宇佐市だったので、さらに理解が深まった。 |
| 学校教育課長 | (4) 鹿屋市子どもサミットについて 資料に基づき説明 |
| 学校教育課長 | (5) 令和2年3月市内中学校卒業予定者の進路希望状況について 資料に基づき説明 |

| | |
|--------|--|
| 教育長 | 鹿屋東中と第一鹿屋中は私立高校への進学が多くなっている。 |
| 黒羽子委員 | 表の未定とは何か。 |
| 学校教育課長 | 令和元年7月10日現在で進路希望が決まっていない生徒のこと。 |
| | (6) 第7回鹿屋女子高キッズチャレンジフェスタについて |
| 学校教育課長 | 資料に基づき説明 |
| | (7) 鹿屋市市民交流センター条例施行規則の一部改正について |
| 生涯学習課長 | 資料に基づき説明 |
| 風呂井委員 | 文化会館の設備使用料との整合について、消費税率が加算されていないものもあるがどうということか。 |
| 生涯学習課長 | 文化会館については改正前の使用料から8%を除いて10%を改めて課税しているが、市民交流センターは基準値額をもともと決めているため、その額の10%課税としており、金額が変わらないものもある。 |
| 教育次長 | 文化会館は元の金額が分からないため、割り戻すしかなかった。 |
| 風呂井委員 | 市民から見たら基準値額が異なるのはおかしいのではないか。 |
| 教育長 | ここで解決できないので、今後の課題としたい。 |
| | (8) ドキドキ・ワクワク保育体験について |
| 生涯学習課長 | 資料に基づき説明 |
| 早川委員 | 参加者は希望者か。 |
| 生涯学習課長 | 希望者を全員受け入れている。 |
| 風呂井委員 | 男子生徒はいなかったのか。 |
| 生涯学習課長 | 男子生徒はいなかった。 |

| | |
|--------|---|
| | |
| 6 | 動議の討論 |
| 教育長 | 発言がないので、動議はないものとする。 |
| 7 | その他 |
| 早川委員 | プログラミング教育とは何か。 |
| 学校教育課長 | 論理的な考え方、段取りをプログラミング教育の中で学ぶ。小学校の教科等の中で取り入れることで、プログラミング的思考力や行動力の育成を目指す。 |
| 教育長 | 今年度は西原台小が指定校となっており、各学校に公開することで、容易に取り組めるようにしていく。「鹿屋小オープンスクール」での成果発表にもつなげていく。 |
| 教育長 | 次回の定例教育委員会は、令和元年11月7日（木）15時00分から教育長室で行う。 |
| 8 | 閉会 |
| 教育長 | 以上をもって9月定例教育委員会を閉会する。 |
| | 以上 |